

## 令和8年度 東部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位： $\mu$  <sup>マイクロシーベルト</sup> S v /時）

S v（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

$\mu$ （マイクロ）： $10^{-6}$ （100万分の1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バック グラウンド
第1回目	令和8年4月15日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第2回目						
第3回目						
第4回目						
第5回目						
第6回目						
第7回目						
第8回目						
第9回目						
第10回目						
第11回目						
第12回目						

※ 1か月に1回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約1mの高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Bq<sup>ベクレル</sup>/kg）

Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回 <sup>※1</sup>	採取日	検体	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性 セシウム の合計
第1回目	令和8年5月予定	焼却残渣 焼却灰 <sup>※2</sup>			
		焼却残渣 飛灰 <sup>※3</sup>			
第2回目	令和8年11月予定	焼却残渣 焼却灰 <sup>※2</sup>			
		焼却残渣 飛灰 <sup>※3</sup>			

※1 資源化先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。

※2 焼却残渣 焼却灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※3 焼却残渣 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。